

ブルース

MAGAZINE

土木建築系総合カルチャーマガジン

ブルース・マガジン

#03

いま、土建の現場が輝く がむしやら主義!

FREE ¥00円



厳選掲載!
泥と汗の現場で
さあ働くぞ!
求め!
現場職人!

土木・建設
ドライバー・配管・塗装
運送・解体・内装・トビ
左官・土工・除染

TOKYO 都市土木24時

ゆうちじん
『遊地人の、マシーン超現場主義!』



遊地人 ▶ Yu-Chijin
土建会社経営の社長であると同時に現役職人。根っからのマシーンマニアでもある。日本のみならず、世界各国からリリースされる最新の現場機器に精通し、各メーカーのご意見番として辛口批評をくりひろげている。

写真 菊池茂夫



NETIS(国土交通省 新技術情報提供システム)は、民間企業により開発された新技術に係る情報を共有及び提供するためのデータベースのこと。三笠産業の防音技術が高く評価されることでより静かな製品がこれからも生み出されていくんだ。



向かって左が転圧前、右が転圧後。白く石粒が立っている左に比べて、転圧した後の方はしっかりと地面に埋め込まれて平らになっているのがわかるかな。



MT55L-SGKの防音効果を飛躍的に高めているウレタンフット(左下)、マフラー(右下)、防音カバー(左)。



<豆知識>

余談なんだけど三笠のパンフレットって凄くて、超マッチョなお兄さんがTシャツ姿でモデルやってるのよ。シュールな笑いを誘って大好きなんだよね。堅そうな機械メーカーなのに、コミカルに砕けてきてるって、日本の土建は最近すくいい感じ。

「防音」と「低騒音」を兼ね備えた
職人のやさしさの結晶

第3回 三笠産業株式会社 MT55L-SGK 防音型ランマー

今回のレビューは、三笠産業株式会社のランマー『MT55L-SGK』。ランマーの用途は単純明快——材料を叩いて締め固めることでね。地面を平らに均すために、工事現場で「ドドドド!」と叩いているの見たことないかな? あのマシーンだ。

ランマーは土建屋にとって「THE 土木機械」っていうくらいメジャーな基本機材で、これを持ってない土木屋は土建屋じゃないよね。構造は、エンジンでプーリーを回転させて、クランクにより往復運動をスプリングで転圧盤に伝えて転圧盤を上下に動かす、と。これもいたってシンプル。

新製品である MT55L-SGK の最大の売りは、なんといっても「防音」と「低騒音」なんだよね。工事現場が好きじゃない、という人たちが迷惑と思うのは、ほとんどの場合「騒音」だよな? それに対応したのが、このマシーンというわけ。日本の土木機器ってのは、機能や安全面のほかに、「工事現場の近隣住人様に対して、いかに静かに迷惑をかけずに施工できるか」ってことを大切に

して進化してるんだよね。

ということで——とある晴れた平日の午後、うちの会社の駐車場に、メーカーの三笠産業株式会社さんに、デモ機をもって来ていただきました。

実は、駐車場の補修をしなきゃならない事情があって、その補修をデモ機を使った実践レビュー形式でやってみようと思ったの。駐車場は住宅地であって、防音ランマーの性能をみるのにピッタリだと思ったんでね。で、早速エンジンをかけてみたら……静かねえ。もう、びっくりするほど静か……。

メーカーの公式パンフレットを見ると、ランマーの隣で子供がずやすや眠ってる写真が載って、さすがに「ちょっと大げさなんじゃないの〜?」と思ってたら、本当に静かなのよ。

エンジンには防音カバー、マフラーには大型サイレンサーがついている。例えるなら、直管仕様の暴走族バイクがノーマルの原付になったって感じ。これなら、夜間工事だっけに気にならないだろうね。

そしてもう一つ。実はここがすごいのでぜひ注目してもらいたいの、新開発の転圧盤! なんだよね。転圧盤っていうのは、ランマーの一番下の部品で、直接地面を叩く部分なんだけど、従来の転圧盤は、木の板に鉄板が貼ってあって、地面を叩くとバタバタともものすごい音がしたんだよ。MT55L-SGK は、ウレタンフットっていうゴムに似た材質の転圧盤がついてるから、騒々しいバタバタ音を解消している。まさに完璧防音。

こういった商品ってのは、たいていはお客様の声からできるってもんで、三笠さんのお客様ってのは土木建築の職人でしょう。ということは、この防音ランマーは「工事現場近隣の人たちを騒音で悩ませたくない」っていう、職人のやさしさから生まれたマシーンなんだよね。

力強さや速さだけを追求するのではなくて、日本の土建機械はやさしさを求めて進化してる。三笠のランマーの半分は職人のやさしさからできてますよ!!



